

真ひみ
未来遺産
～水見の文化財探訪～
第2回

灘浦地域と石動山

石動山信仰にまつわる文化財

【問合せ】 博物館 ☎74-8231

水見の文化財を訪ねるこの連載、まずは市の北方、能越国境にそびえる石動山に目を向けてみたいと思います。平安時代末頃には神仏習合が進み、山岳信仰の拠点となったのが標高565メートルの石動山です。現在石動山は、石川県中能登町側が国指定史跡になっていますが、中世における主参道は、阿尾城の城下を起点とし、見田窪から白川、戸津宮を抜けて石動山へ至る水見側の「大窪道」でした。それもあって、歴史の道百選（文化庁選定）の一つであるこの「大窪道」の沿線、そして灘浦地域一帯には、石動山信仰にまつわる文化財が多数存在しています。

例をあげると、戸津宮には、天正10年（1582）の石動山合戦での戦死者を弔ったと伝わる千人塚という塚があり、その横には梵字を刻んだ板石塔婆が半ば埋もれて立っています。白川の小堂内に安置された石製の不動明王は、安政3年（1856）に石動山衆徒によって建立されたことが記されていますし、宇波川の上流には八代仙と呼ばれる石動山の修行場が所在します。また、中田の道神社拝殿（富山県指定文化財）は、灘浦を拠点に活躍した堂塔大工、大窪大工の手による石動山の開山堂が明治初めに移設されたものです。灘浦地域に伝存する特徴的な2点の獅子頭も、石動山信仰に関連するものと推測されます。ひとつは長坂神社の「龍頭獅子」（室町時代頃、水見市指定文化財）、もうひとつは吉岡北山主神社の「箱獅子」（江戸時代頃）です。いずれも獅子舞に用いられる獅子頭とは異なる造形で、神輿の先導役をつとめたものと考えられます。



長坂神社の「龍頭獅子」



北山主神社の「箱獅子」

ひみPay
ポイント還元キャンペーンの
お知らせ

還元されたポイントの利用期限は
令和8年6月30日(火)までです！
※利用期限を過ぎるとポイントは失効します。

冬の20%還元キャンペーンは、
令和8年5月31日(日)で終了となります！

- ▶ 購入とポイント付与の期限は令和8年5月31日(日)までです。
- ▶ チャージしたマネーの利用期限は令和10年3月末までです。

【予告】
令和8年7月1日(水)から新たなポイント還元キャンペーンが始まります！
1人あたり最大10,000円相当(30%還元)のポイント付与！
▶ 詳細は決まり次第、お知らせします。

【問合せ】 氷見商工会議所 ☎74-1200 ✉himi@ccis-toyama.or.jp



ひみPayアプリの
ダウンロードはこちら



カーボンニュートラルを目指す取り組みを支援！
再生可能エネルギー導入促進補助金

【問合せ】 環境保全課 ☎74-8065

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、地域で脱炭素を推進するため、太陽光発電設備・蓄電池の導入に補助金を交付します。
※この補助金は、環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）」を活用し、実施するものです。
※予算の上限に達した段階で、受付を終了します。



詳細は市HP

1. 太陽光発電設備（自家消費型）の導入

- 補助対象者**
- 個人（自ら居住する市内の住宅などに太陽光発電設備を設置する人）
 - PPA事業者（市内の個人宅敷地内に太陽光発電設備を設置、管理し、発電した電力を供給する事業者）
- 補助金額** 1kWあたり7万円（上限35万円）
- 補助要件**
- FIT制度（固定価格買取制度）またはFIP制度（市場売電価格に上乗せされる制度）の認定を取得しないこと
 - 10kW未満の太陽光発電設備であること
 - 発電した電力の30%以上を自家消費すること
 - 対象設備の導入について、国の負担または補助を受けていないこと

2. 蓄電池の導入
（太陽光発電設備（自家消費型）とあわせて設置する場合）

- 補助対象者**
- 個人
 - PPA事業者
- 補助金額** 対象経費の3分の1（上限40万円）
- 補助要件**
- 太陽光発電設備（自家消費型）と併せて導入する設備であること
 - ※蓄電池単独での導入は本補助金対象外
 - 蓄電池の価格（設置に係る工事費含む）が、15.5万円/kWh未満であること（12.5万円/kWh以下になるよう努めること）
 - 蓄電池の容量が4,800Ah・セル未満であること
 - 対象設備の導入について、国の負担または補助を受けていないこと



ろんくまのいえの
交流スペース



ろんくまのいえHP

昨年年度から、協力隊活動として改修に携わってきた論田・熊無地区の宿泊体験・交流施設「ろんくまのいえ」が5月にプレオープンしました。今年度はこの施設のスタッフとして運営に関わりながら、地域の魅力が伝わるように施設内外の企画デザインや制作活動を行なっていきます。地域を訪れる方と地域住民をつなぐ拠点として、ろんくまの豊かさを体験できるような場所にしていくために、交流スペースのインテリアアセレクトやレイアウト設計に携わっています。他にも、地域の名物である草もちを製造している食彩ふるさとにも引き続き関わっています。4月からはろんくまのいえに併設された新たな加工所で草もちの製造を始めており、将来的には直販も予定しています。皆様ぜひ、論田・熊無地区にお越しください！

地域おこし
協力隊の
活動報告 vol.108

宿泊体験・交流施設
企画運営と草もち
のブランディング

竹岡 怜音

主な活動場所
論田・熊無地区

ひみSDGs推進パートナー紹介

【問合せ】 未来戦略課 ☎74-8011

ひみSDGs推進パートナーにご登録いただいている皆さんを紹介します。



氷見市緑化推進委員会

森林・林業の役割や木材利用の意義に対する理解と関心を広く周知するため、「緑の募金」運動の推進をはじめ、ソメイヨシノなどの苗木の植樹支援を行っています。また、花とみどりの少年団による花壇の維持管理や地域住民の皆さんへの花鉢プレゼントなどをとおして、森林の整備及び緑化推進に取り組みます。





©藤子スタジオ

5/5 親子で楽しむマンガの世界
藤子不二雄®マンガワールドまつり

「忍者ハットリくん」の誕生日である5月5日にあわせ、藤子不二雄®マンガワールドまつりが潮風ギャラリーを中心とした市街地一帯で開催されました。

イベントでは、藤子不二雄®先生のマンガキャラクターのスポットを巡るスタンプラリーや、藤子®キャラクターをモチーフとしたゲームコーナーが設けられたほか、「オトギノマルシェ」も同時開催され、多くの親子や観光客がゴールデンウィークのまちなかを楽しみました。

4/17 氷見の街に華やかさを添える
まるまげ祭り

紫、水色、ピンクの華やかな色彩の着物に身を包んだ女性たちが、伝統の丸まげを結び、プリンス館から千手寺までの約1.2kmを練り歩きました。この祭りは、かつて芸妓たちが幸せな結婚を願い、年に一度の休日に人妻を象徴する丸まげを結び、千手寺の観音様に願掛けをしたことが起源とされています。

今年は27人が参加し、参加者は「氷見の文化に触れるいい機会になった」と振り返っていました。



4/18 伝統の鐘の音、人々の心をつなぐ
ゴンゴン鐘つき大会

ごんごん祭りにあわせてゴンゴン鐘つき大会が上日寺で開催され、一般の部に市内外の14歳から67歳の計30人が出場して競いました。会場には、多くの市民や観光客も訪れ、大会出場者へ声援を送っていました。

1分間に鐘をつく回数を競う部門（一般の部・50kg以上の丸太）では、静岡県島田市から出場した吉田智さんが大会新記録となる146回で4連覇を果たしました。出場者たちの力強く美しい鐘の音が祭りに響き渡り、訪れた人々も大いに盛り上がりました。



4/19 一划の自然と歴史を体感する
水芭蕉ウォーキング in一划

基石地域づくり協議会と一划自治会が、一划地区の水芭蕉園や史跡などを巡る「水芭蕉ウォーキング in一划」を開催し、約130人が約3kmのコースを歩きました。

参加者は散策中、花びらのような苞を開いたミズバショウを探したり、縄文土器が発掘された前田遺跡では縄文時代の人々の生活を想像したりするなど、地区の自然と歴史に触れ、ウォーキングを楽しみました。



4/11 布施地区(7年ぶりに開催)



4/12 脇方地区(7年ぶりに開催)



4/12 獅子舞実演会(大浦地区)



5/3 唐島大祭(中町・今町)



5/2 震災後の空き地を憩いの場に
ひみ花プロジェクトin池田町

能登半島地震被災地のコミュニティを支援する「ひみ花プロジェクト in池田町」が開催され、地域住民ら約300人が、公費解体された住宅跡地に花苗を植えました。この事業は能登半島に点在する震災後の空き地を再生する活動「一人一花 in能登半島」プロジェクトの一環として実施されたものです。

当日は、同活動のアンバサダーで俳優の常盤貴子さんと友人で俳優の仲間由紀恵さんも参加され、常盤さんは、「多くの住民がここに集まり、笑顔が広がっていく場所になってほしい」と語りました。

